

第4章 5つの施策の基本方向と19の具体的な施策の展開

地域の戦略目標や将来像を実現するために、5つの施策の基本方向に基づいて、京都丹波地域の振興施策に取り組んでいきます。

1 地域資源をいかした交流と賑わいの森の京都

- (1) 豊かな自然をいかした「森の京都」の推進
- (2) 「食」や「森」をいかした京・里山のおもてなし
- (3) スタジアムや地域資源をいかしたスポーツ観光
- (4) 新しい時代の観光振興

2 だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり

- (5) 安心・安全で住みやすいまちづくり
- (6) 人権の尊重と自立と協働による思いやりと信頼の「絆」づくり
- (7) 地域に伝わる自然や歴史・文化をいかした地域づくり
- (8) 地域資源をいかした次世代につなぐ人づくり
- (9) だれもが健康で安心して暮らし支え合う「絆」づくり

3 地域の活力を支える産業・農林業の振興

- (10) 地域特性をいかしたものづくり産業の振興
- (11) 地域の強みやチャンスをいかした、元気で魅力ある商店街・個店づくり
- (12) 農商工連携を軸にした年商1億円をめざす経営体の育成
- (13) 水田農業の大転換も見据えた集落営農の法人化による地場産業としての農業振興
- (14) 農業・農村資源をいかしたユニバーサル農業(福祉農業)の創造とビジネス展開

4 安心・安全と交流を支える基盤整備

- (15) 安心・安全な災害に強いまちづくり
- (16) 明日の「京都丹波」の礎を築く交流の郷づくり
- (17) 交流の基盤となる交通ネットワークの整備
- (18) 豊かな自然環境の保全と快適で人にやさしい地域づくり

5 「京都丹波」ブランドの国内外への発信

- (19) 「京都丹波」の地域ブランドの国内外への発信により、人を呼び込み、元気なまちづくり